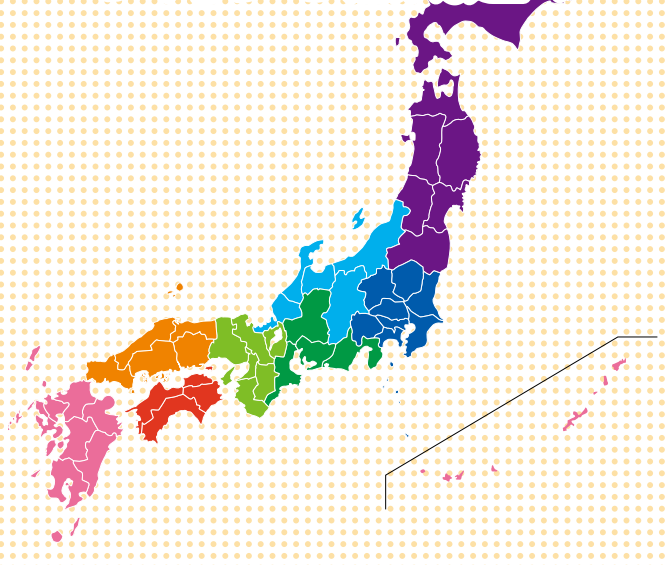


都道府県薬剤師連盟 全支部長の挨拶

vol.2

「組織強化」 に対する意気込み



久慈支部
新淵 宏
岩手県

会員数も多くないですが、意識高揚を図り政治力を高められるよう機会があるごとに話して行きたいです。

宮古支部
千代川千代吉
岩手県

東日本大震災の被災者との意見交換、お薬相談会を通して地道に活動し、組織の活性化と強化を図っていく。

花巻支部
山田 裕司
岩手県

「政治の力が必要だ」と頭ではわかっているが、行動(入会者を募る等)が伴っていない現状を何とかしたい。

一関支部
小笠原慈夫
岩手県

健康寿命で長生きが理想。病気は治療より予防。基本は食です。理想の実現に政治も活用。

釜石支部
小笠原修二
岩手県

「三師会連絡協議会」という連携をとっている組織があり医療コミュニケーションはスムーズにしています。

奥州支部
小野寺 豊
岩手県

近年の厳しい環境の中、薬剤師の地位、及び職能向上のためにも連盟活動の強化をはかっていきたいと思っています。

北上支部
内館 伸也
岩手県

北上地区では会員の選挙への関心が低いので選挙への関心を高め投票行動に結びつけるよう活動して行きます。

盛岡支部
高砂子修作
岩手県

参院選や地方選、連盟からの諸連絡に対応するため地区ごとに班組織を立上げ37の班体制で活動しております。

気仙支部
大坂 敏夫
岩手県

震災時大変お世話になりました。岩手県沿岸南部の気仙地域です。地域で一丸となって応援していきます。

寒河江西村山支部
眞木 恒雄
山形県

薬剤師に対する様々な逆風の中、地位向上のためにも政治力を付けることが重要である。連盟の重要性をわかっていただき、会員増並びに活性化に努めたい。

天童東村山支部
新関弥一郎
山形県

望む薬剤師道を創り上げるには、政治が重要なことを常に説き、事あらば全員が行動を起せる支部である。

上山支部
石井 浩之
山形県

人数の少ない支部ですが、その分、連盟に対する理解と協力を得られやすい環境にあると思います。今までも勉強会や研修会の折に声がけてまいりましたが、更なる理解と協力を求めています。

山形支部
岡崎千賀子
山形県

山形市薬剤師会では、地域包括支援センター担当圏域と連動した30の保険薬局班を編成し、若手を中心に組織強化に努めています。病院勤務、薬局勤務の垣根を越えて、協力しながら地域貢献活動を行っています。

二戸支部
金澤 悟
岩手県

薬剤師連盟からの通知内容を会員に説明を行いました。藤井基之先生の再選の重要性も補足説明しております。

南陽東置賜支部
結城 光彦
山形県

5年前から煤燦会(三師会)を立ち上げ、毎年共通の課題で研修会を開催し、お互いの連携強化をしています。

鶴岡支部
小池 正純
山形県

多職種との連携強化を進める中で若手薬剤師、女性薬剤師を積極的に起用する。

酒田支部
佐藤 義朗
山形県

当地区では、役員を中心にして連盟が活動しています。薬剤師が今後業務をしていくには政治活動が欠かせないと一般会員にも、会合のたびに伝えています。

新庄最上支部
大橋 一夫
山形県

新庄最上薬剤師会では薬局従業員(薬剤師含む)×2の目標数値にして活動いたします。

北村山支部
山本 春日
山形県

研修会や交流会などを数多く開き、会員相互の理解を深めていく。

黒磯支部
相馬 邦夫
栃木県

マンパワー不足で苦労しています。あと2年の任期、何とか頑張りたいと思います。

塩谷支部
斎藤 安代
栃木県

連盟の存在感を高め強化するために、若者との絆を深め、目的の共有と協調を大切にできればと思います。

宇都宮支部
土川 康夫
栃木県

若い会員の方は、政治への関心が低い様思われますので、調剤薬局のオーナー会員にお願いをし、「若手フォーラム」に従業員会員の参加をいただいています。

米沢支部
有壁 寛
山形県

日頃の薬剤師業務と連盟活動は車の両輪と同じです。今後とも一体となって頑張っていきます。

長井西置賜支部
工藤 隆
山形県

「藤井もとゆき後援会」の拡大に向けて会員本人と家族の方、従業員の皆様へと地道にコツコツがんばって、後援会の輪を大きくして行きます。

大田原支部
佐藤 典夫
栃木県

次世代薬剤師が主体的に身の回りの問題を話し合っている情報交流の場を設けていきたい。

足利支部
大屋 守
栃木県

毎年、新年会に地元の国会議員にご出席いただき、直接話を聞くことで政治に関心を持って貰うようにしている。

小山支部
山田 利信
栃木県

チェーン薬局が多い地域でもあり、薬剤師会の必要性をアピールするためにも地域の研修会の充実に取り組んでいる。

鹿沼支部
下妻 和彦
栃木県

支部会員が50人弱ですが、動きやすい人数かと思えます。顧問県議員の選挙区でもあり、今年の選挙は全員で頑張りました。

佐野支部
平田 義人
栃木県

自民党選対委員長の茂木敏充代議士の地元地区ということもあり、秘書さんと連絡を取り合っています。

栃木県
●芳賀支部
山口 友也

1市4町が連合しました会員数80弱、施設数60余の薬剤師会です。当会は、行政との連携を密にして、地域に密着したかかりつけ薬局・薬剤師として努力を重ねております。

栃木県
●病院勤務薬剤師支部
本田 雅巳

講演会など事あるごとに、薬剤師が連携し合い一丸となる必要性を説き続けていきます。

栃木県
●日光支部
和貝 益男

世界遺産を有する日光で70名程の会員で活動しております。チェーン薬局においては、管理薬剤師のみの会員登録が多い中、その他の薬剤師の会員登録にも積極的に入会を勧めており、若手薬剤師の育成にもフォーラムへの参加を呼び掛けて薬剤師の地位向上の意識付けを行っています。

栃木県
●南那須支部
森島 政清

当支部は、会員数が少ないので、他支部と協力して全員参加で活動をしていきたい。

栃木県
●栃木支部
牛久 幸泰

薬剤師を取り巻く環境が変わる中で、医療人としての10年後、20年後の薬剤師像を考えながら活動しています。

長野県
●上伊那支部
唐澤 頼勝

当支部は、縦に長いので、3ブロック(北部・中部・南部)に分けて薬連だよりの配布、地区の情報交換を中心に活動している。

長野県
●佐久支部
花岡 幹郎

会員に、薬剤師がよりよく働くためには、政治の力は必要であることを認識してもらうよう、活動しています。

長野県
●更埴支部
荒井 陽一

薬剤師の就業する職種は多岐にわたり、それに由来する主義主張も広く様々になるのですが、とにかく広く多くの薬剤師に集まって話しを聞いて頂くことが何よりも重要だと思います。

長野県
●岡谷支部
矢崎 光貞

薬剤師に関する時事問題を毎月の例会等で話題にし、会員の意識が高まるよう努めています。

長野県
●安曇野支部
丸山 政明

薬連の政治活動を、私ども薬剤師の生活闘争と考え、多くの薬剤師に理解して頂き組織強化をはかりたい。

長野県
●北信支部
牧野 嘉章

地域薬剤師会員間の繋がりや連携が基本と考え、薬剤師にとって連盟の役割と重要性を会員に認識いただくように、支部活動をしたと思っています。

長野県
●飯田下伊那支部
市瀬 光一

当支部は、医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会で、強力なネットワークを組んで活動しています。

長野県
●長野支部
谷 憲昭

政治に無関心な薬剤師に、薬連に関心を持ってもらう活動に苦慮していますが、分業パッシング、薬剤師パッシングの今こそ政治参加意識を高める活動をしていきます。

長野県
●大北支部
林 もと子

私達の大北地域は北アルプスの山並みの麓、会員数55名の小さな地域です。会員の構成は30代と50～60代が大多数を占め、20代の会員増加は望めない状態です。新年会は会員外の若手にも声をかけたり、月1～2回の研修会も参加を呼びかけて交流を図っています。

長野県
●諏訪支部
藤森 和良

会員の理解は欠かせない。役員は認識していても認識が低い状況。組織体制を構築し活動したい。

静岡県
●伊東地区
稲葉 朝一

集まった時に、関係医療制度の改革など出来るだけ、話に出し、政治力が必要であることを訴えていく。

静岡県
●賀茂地区
高橋 浩

班組織の強化。限られた人材の中からできるだけ若い動ける薬剤師を採用していきたいと考えております。

長野県
●小北支部
小松 富美男

小さな支部ですが、若い薬剤師の方々も入ってきています。政治離れと言われますが、関心を持ってもらって投票行動に進められるよう一緒に頑張っていけたらと思います。

長野県
●松本支部
加賀美 秀樹

会員に対する薬連活動の意義を明確にし、県薬連との緊密な連携のもと、会員一丸となった活動を展開する。

長野県
●木曾支部
浦沢 昌徳

薬剤師が居れば、あなたにこんなメリットがあります。と一般人に対して会員が言えるだけの材料を提供する。

静岡県
●北駿地区
芹澤 一男

分業が多くなり薬剤師が急増した現状では、薬剤師個々、業界が抱える問題も従来とは大きく変化しており、多種多様になった要望をすくい上げ、政治力につなげるには組織強化、会員増加が必要であると折に触れ伝えている。

静岡県
●沼津地区
渡辺 好司

政治活動の重要性を積極的に伝達し、会員増強に努め、地域一体の政治力強化を目指しています。

静岡県
●三島地区
勝又 壯一

現時点における組織強化に関する地区での取り組みは十分とは言えない。今後は、静岡県薬剤師連盟より組織強化担当役員を招聘して、連盟の活動目的や内容について会員に十分説明して頂くとともに地区会員間の交流の場を多く作り、お互いの繋がりが分る関係を構築していきたいと考えている。これにより信頼関係や一体感のある連盟の組織にしていきたいと考えている。

静岡県
●田方地区
原田 義次

薬剤師一人一人が認識し、理解及び行動しなければ現状を維持できないことを喚起していく。

静岡県
●熱海地区
岡田 国一

薬剤師を取り巻く環境が激変する中、連盟の役割はとて重要。みんなで頑張らしましょう！

静岡県
●焼津地区
小山 裕司

毎月定例の「生涯学習研修会」開催時に、「薬剤師連盟」の重要性を会員に理解していただくよう努めます。

静岡県
●静岡地区
秋山 欣三

他政令市薬剤師連盟の事例を参考に連盟の重要性の説明を研修会や入会面接の際、積極的に行っています。

静岡県
●清水地区
保坂 知彦

当地区では市議、県議の地区選出議員との連携強化に努めており、多くの会員が良好な関係を築いております。

静岡県
●富士宮地区
秋山 万仁

1人でも多くの薬剤師が連盟に加入していただき、政治に参加してもらえる様にしている。

静岡県
●富士地区
羽二生 尚身

メリットを感じないから、加入しないのか、加入が足りないから、メリットが出せないのか。身近な事から、政治離れの多い若い世代と将来を語りたい。

静岡県
●磐田地区
中村 良雄

規制改革の名のもとと変化が進む中で、政治への参画が必須です。会員との関係を密にして組織強化を図りたい。

静岡県
●小笠原井地区
横山 敦

若手薬剤師を中心に、薬剤師の政治力の必要性・重要性を訴え、会員の県連盟への参加を促すと共に、組織力強化を図っていきます。

静岡県
●榛原地区
田代 州彦

当地区は広域に48軒の薬局が存在するため8つの班に分けて、それぞれの班長を通して組織強化に努めています。

静岡県
●島田地区
清水 潤一

次世代の薬剤師の環境を自分の事と考え、今必要なのは政治力ということを理解してもらう以外にない。

静岡県
●藤枝地区
鈴木 正章

薬剤師の明るい未来のために、藤枝薬剤師会一丸となって頑張ります。

大阪府
中央区東支部
藤波美津子

大きな力を生み出すため日薬連盟、府薬連盟と足並みをそろえ、若手の育成にも力を注いで参ります。

大阪府
福島支部
伊東敏行

福島区薬剤師連盟が今後も、次の若い世代に受けつがれていくことを希望しております。

大阪府
都島支部
吉川真知子

特に組織強化などを入れているわけでは
ありませんが、個々の薬剤師には連盟の意義
をしっかり説明すると理解はしていただけま
すので個人加入を勧めていきたいと思いま
す。しかし出入りの比較的多いチェーン薬局
では難しいかもわかりません。

大阪府
北区大淀支部
草分孝子

会員の皆様に連盟に関心を持って頂ける様
POWER配布の際や選挙の時等に言葉をか
ける様に心掛けています。

静岡県
浜松地区
品川彰彦

入会時や市薬剤師連盟主催のセミナー等で、
薬剤師一人一人の気持ちが大切であることを
訴え啓発しています。

大阪府
天王寺支部
守島繁昭

地域包括ケア構築をめざし、業薬連携、多職
種連携に取り組む。若手薬剤師のフォーラム
参加を積極的に推進する。

大阪府
大正支部
金城鉄男

報(告)連(絡)相(談)が組織強化の基本。先
ず、「POWER」を全会員へ認知してもらう
事から始めたいです。

大阪府
港支部
五十君豊

地域包括医療の担い手になれるよう、組織の
活性化を図っていきます。

大阪府
西支部
大江雅彦

本会は、A会員・B会員のほぼ全員が連盟会
員です。これからも連盟活動への協力をより
一層強めていきます。

大阪府
中央区南支部
藤井義博

南薬師会は小規模の支部ではありますが、
それだけに研修会などを通じて、まとまりの
ある結束力で世代や立場を超えて一丸とな
り薬剤師職能の強化を目指していきたいと
思います。

大阪府
東成支部
小林洋一

大阪都構想住民投票にて、会員同士の意見交
換もあり、政治への関心が高まったと思いま
す。

大阪府
東淀川支部
宮田憲一

当支部では、総会終了後会員に政治力の必要
性を説明。また、今後班制度を構築し、各会
員との連携を強め、組織力強化に繋げていこう
と考えている。

大阪府
淀川支部
西井康人

大阪府薬剤師会員でない薬剤師でも淀川勤
務会員に入会すれば、淀川区で行う活動に参
加出来るようにして、多くの薬剤師に連盟の
周知徹底する努力をしています。

大阪府
西淀川支部
和久修

大阪都構想をつづいた団結力をこれからも
持ち続けて頑張っていきます。

大阪府
浪速支部
安部力

地域活動を通じて府会・市会議員との関係を
深めたい。

大阪府
阿倍野支部
田中博来

10年前から組織の合理化を目指し、社団法人
を設立しました。三師会関係、地域包括ケア、
学校環境衛生を中心に会員の意識を高めて
いきます。

大阪府
鶴見支部
藤原誠

鶴見支部は全37店中個人店12件の非常に小
さな支部ではありますが、小さな支部だからこ
そ特に個人店は横のつながりは深く、常に連
携をとって運営しているのが特徴です。今後
も若い薬剤師を中心として会員、非会員の差
を明確に打ち出していきたいと考えています。

大阪府
城東支部
鈴木康友

薬剤師の未来のため、政治力が必要であるこ
とを実感してもらうよう努めています。

大阪府
旭支部
岩崎外喜雄

当連盟会員は、心を一にして、薬剤師の置か
れている社会的使命に応えるべく、地域薬剤
師会と表裏一体努力して行く。

大阪府
生野支部
三浦朗子

会員さんや薬学生には薬剤師議員の意義に
ついて、お話ししています。各大学に期日前投
票所があればいいですね。

大阪府
西成支部
藤井博昭

国の重要事項が政治決着されていく状況下
で、代弁者を一人でも多く送り出しておかな
ければ、私たちの業務を安定して継続し続け
る事は困難であります。何故、政治力が必要
なのかを訴えて組織の強化に努めていきたく
と思います。

大阪府
平野支部
安永政利

「今の若い薬剤師には、薬剤師を代表して意見を申せる
薬剤師議員の必要性 重要性が認識出来ていないと思
われます。認識を深める為、認識の共有化が重要で若い
薬剤師を主体にしたコミュニケーションを取るべく若
手フォーラムの参加促進は勿論、様々なシンポジウム
の参加により組織を強化していきたいと思えます。

大阪府
東住吉支部
山田公一

東住吉区薬剤師連盟に於いては、日々の業務
に政治活動が大きく影響を与えている事を
役員始め会員各位が自覚を持ち、社会に貢献
できる薬剤師を目指します。

大阪府
住吉支部
栗生正也

きめ細かな組織活動を行うとともに、若手の
会員が積極的に参加出来る環境を作ってい
きたいと考えています。

大阪府
住之江支部
林泰宏

課題を一つ一つ着実にこなしていくことを目
標に会員の意思統一に心砕いています。

大阪府
吹田支部
大森洋子

昨年10月の突然の衆議院の改選、又今年の地方選挙をお除
様でよい結果が得られました。私達薬剤師のために、声の届く
ところに議員をおかないと、将来はないと云って決して過
言ではないと思います。自分のためにぜひ政治に関心を持
って頂きたいと思えます。薬局を健康情報拠点推進事業費2億
4000万円が計上されたのは藤井先生が薬剤師だからです。

大阪府
池田支部
西洋壽

研修会・支部のイベントなどの場で、会員一
人一人と話し合うことにより組織が強くなっ
ていくと考えております。電話作戦もまず会
員から。

大阪府
豊中支部
芦田康宏

職能を十二分に発揮できるよう、資質向上を
目指し、そのための社会的環境を整えること
が薬剤師会の責務であろうと考えています。
そのためには、政治力が必要です。情報を共
有し、結果を出していく。会員に実感してもら
うことが大切だと思います。

大阪府
岸和田支部
山本昇

政治力の必要性を理解してもらい、薬剤師の
将来のあり方を共に考える支部作りを目指し
ます。

大阪府
堺支部
尾島博司

堺市は政令指定都市であり、一つの医療圏で
あるため、薬剤師会の事業を円滑にするため
に、政治活動が重要であることを、会員に啓
発していきたい。

大阪府
枚方支部
岩瀬敦彦

薬剤師が医療スタッフとして十分に活動し
ているように会員の皆様の更なる政治参
加をお願いしていきたいと思っています。

大阪府
守口支部
増田真一

超少子高齢化の時代、政治活動の大切さを再
認識し、特に若手の会員への啓発を進めてい
きたい。

大阪府
貝塚支部
西村卓也


将来の薬剤師の為に大阪府薬連盟に協力を
できるよう、政治力の重要性を伝えていきま
す。

大阪府
高槻支部
松尾浩

地域における活躍する人材に対して活動の
場を提供し、会員との信頼関係を深めること
に努めています。

大阪府
泉大津支部
辻内秀美

泉大津薬剤師連盟は、薬剤師として業務を円
滑に遂行できるように、地域の議員の皆様と積
極的に交流してまいります。




●河内長野支部
大阪府
篠瀬 裕彦

薬剤師の地位向上には政治の力が大きく、連盟の必要性を支部で伝え、地域の薬剤師がその職能を活かすことが大切だと考えております。



●富田林支部
大阪府
大橋甲三郎

地域における政治力の必要性を紐解き、一人でも多くの先生方の活動の参加を促す為、勉強会等行い組織力アップ!



●泉佐野支部
大阪府
荻原 福治

泉佐野支部では会員が全員連盟会員になりますよう努力してまいります。会員増加が連盟組織強化に繋がると思うからです。



●八尾支部
大阪府
中野 道雄

政治力の必要性のアピール強化。勤務薬剤師等の会員増員対策。



●茨木支部
大阪府
望月 道彦

薬剤師を取り巻く環境の変化、勤務薬剤師会員の増加、こういった変化に対応する必要がありますと考えます。




●高石支部
大阪府
北野 耕一

薬剤師は法律で規制され又保護されています。薬剤師として薬剤師連盟としての意義を再確認し各会員及び関係者へ政治の必要性、重要性を理解し組織強化につなげたい。



●羽曳野支部
大阪府
上田 憲司

薬剤師の地位向上には政治力が不可欠。薬剤師議員の必要性を認識してもらえるように頑張りたい。



●柏原支部
大阪府
森 貞樹

薬剤師の仕事と政治活動が関連している事を理解してもらい、皆の連携を強化できるようにしていきたい。



●箕面支部
大阪府
林 良紀

新年互礼会や総会懇親会に議員を招き交流を深め、薬剤師と政治活動の必要性を説き、後援会名簿の充実を図っています。



●松原支部
大阪府
磯野 元三

松原市薬剤師会は、親睦団体、学術団体のみならず、政治団体であることを会員に伝えている。



●大阪狭山支部
大阪府
南 啓二

地域住民の健康および高齢者の健康寿命を延ばすには身近な存在の薬剤師が“らしさ”と“心がけ”を徹底することしかないと考え我々はそれを実行している。



●泉南支部
大阪府
池 喜章

大阪府最南部の小さい支部です。小さいながらも会員一致団結して頑張っていきたいと思っています。



●枚岡支部
大阪府
山岡 信也

最近個人で開業される方も少なく、大手調剤薬局の若い薬剤師の先生方にも会の運営に協力して頂いております。



●河内支部
大阪府
鴨池 伸治

月1回の支部勉強会毎に連盟の重要性をアピールし、今回は前回の名簿の3割アップを目指します。



●布施支部
大阪府
佐伯 和彦

布施薬剤師連盟は東大阪市布施薬剤師会と協力して会員のみならず薬局薬店で働く全ての従業員の方と近隣の薬学部の関係者と薬学生の方と政治活動を行ってまいります。



●中部支部
鳥取県
石川 敏克

支部長2年目です。小さな支部ですが、その分顔が見え、皆と和気あいあいと活動を進めたいと思います。




●東部支部
鳥取県
中野 厚

会員数360足らずの小さな支部です。それ故に薬局と病院の垣根も低く、ひとつになって頑張ります。




●道修町支部
大阪府
中村 春行

当会は、「薬の街」として色々な職種薬剤師がおり若手薬剤師を育成・支援しながら連盟組織の強化を図りたい。



●病院診療所支部
大阪府
宮本 雅彦

病院・診療所薬剤師の職能地位向上のためには政治力の必要性、重要性を連盟会員に認識してもらい、心をひとつにして活動に取り組んでいきたいと思っております。




●藤井寺支部
大阪府
福永 敬三

当支部は主に三師会を通じ地道に地域に貢献していますが百鬼夜行の動静に悩み、ものけの凶行に怯える毎日です。守護神は良識の省庁＝厚労省・薬剤師会・連盟のみです。先人からの遺産を守り育成し次世代に引き継ぐ事を使命と銘肝しています。



●日置支部
鹿児島県
松島 宏和

交流会を通して、つながりを強化、連盟活動の関心を高めるよう努めている。今後、若手薬剤師のフォーラム参加を推進していく。



●南薩支部
鹿児島県
鮫島 宗高

まずもって各選挙区における議員と深く関わることが重要と考えます。議員との勉強会、懇親会等を開催し、支部会員と政治との距離を縮めたいです。



●指宿支部
鹿児島県
篠原 良武

薬剤師議員の後援会活動等、支部・班の結束を高めて応援していきます。



●鹿児島支部
鹿児島県
原 浩一

当支部役員が、県議選に劣勢を覆し見事に初当選！ 会員一致団結の賜物であり、組織の絆を深めています。




●西部支部
鳥取県
都田 修史

若手薬剤師の活動が活発になってきて頼もしい限りですが、病院薬剤師との協力、協力がまだ……。今後の課題。



●始良支部
鹿児島県
山崎 貴

217名の会員を地域ごとの15班(各8～10施設)に分け、すべての会員に理解してもらうように班長・副班長を輪番制としています。班会議の開催で情報の伝達・交換をし、懇親も深めています。



●伊佐支部
鹿児島県
岡田 敏

班会議等を通じて連携を図ります。薬剤師議員を全力で応援していきたいと思っております。




●出水支部
鹿児島県
坂本 克洋

出水支部は、若手からベテランの薬剤師がお互いを尊敬して、明るく楽しく活動しています。




●薩摩支部
鹿児島県
向井 秀光

薩摩支部は20数名と小さな組織です。ベテランから若手まですべての会員が何から役割や委員を担っていますし、意思疎通がはかれるので特別組織強化をはからなくてもいい状況です。一致団結しています。



●川内支部
鹿児島県
阿久根 憲造

薩摩川内市は原子力発電所の再稼働問題を抱えている為、市民の政治的関心が比較的高い地域です。よって、単に薬剤師が抱える問題のみ囚われる事無い様に、地域が抱える様々な政治課題について 会員自ら思索し、選挙以外の政治的活動にも参加出来る、地域密着型薬剤師の育成を薬剤師会と共に 支援する活動を心掛けています。




●奄美支部
鹿児島県
岡村 芳和

研修会など会員が集まる場合は、必ず最後に時間を設け、具体例を出しながら政治力の重要性を啓蒙しています。繰り返し説明することが重要と考え活動しています。




●熊毛支部
鹿児島県
溝川 友貴

熊毛は少人数の支部ですが、顔の見える関係が築けています。今後も支部員同士で密に連携を取って参ります。




●肝属支部
鹿児島県
向井 裕

政治って結局関係ないんじゃない?そんなことはありません。小さな声を集めて大きな力にしていきたいです。



●鹿屋支部
鹿児島県
佐々木 量由

法治国家に住んでいるので有れば立法院の大切さを一人でも多くの若手薬剤師に啓蒙し意識向上に努めていきたい。



●そお支部
鹿児島県
富永 博之

若手と長老と中輪とのコラボレーションをつなげたいと思っております。